

国際女性デー2025

生理を考える

女性たちの苦痛とモヤモヤ

徳島新聞がオンラインで実施した生理に関するアンケートでは、多くの女性が生理痛やPMS(月経前症候群)に悩まされていた。そうした症状には時に、重大な病気が潜んでいることもある。徳島大学病院産科婦人科の木内理世医師は「我慢することなく、気になることがあればすぐに診察を」と呼びかける。生理に伴う症状を緩和する方法や、病気の兆候などについて聞いた。(聞き手＝乾栄里子)

生理はそもそもどのようなものか。 生理はそもそもどのようなものか。 生理はそもそもどのようなものか。

排卵後に妊娠が成立しなかった場合、着床に備えて厚くなった部分の子宮内膜は平均12・5～52・1歳が

産婦人科医インタビュー

異変あれば迷わず診察を

鎮痛剤は早めに服用



生理のメカニズムや、症状について説明する木内医師。深刻な生理痛やPMSには病気が潜んでいる場合があるため、「気になることがあれば診察を」と訴えている。徳島大学病院

生理のある期間。昔に比べ、場合によっては「過多月経」と呼ばれて出産する子どもの数が減り、妊娠期間が短くなっているため、現代女性は生涯に400～450回の生理があると言われている。 重い症状を抱える女性も多い。 生活に支障が出るくらい症状が重いと「月経困難症」、経血量が極端に多い

るので、定期的に(細い棒を膣から差し入れ、子宮や卵巣の様子を映す)「経膣超音波検査」を受けることを強く勧める。 過度なダイエットや運動のし過ぎにより、3カ月

生理に伴う症状に対して、どのように対応すればいいの。 生理痛や腰痛がある場合は、我慢せず鎮痛剤を飲んでほしい。用量を守って正しく服用すれば、市販薬を使っても問題はない。痛く

な状況を引き起こすことがある。少しでも異変があれば診察を受けてほしい。 自覚症状がない場合もある。PMSにより気分の落ち込みなどの精神的症状が強い場合、カウンセリングしたり、抗うつ薬などを処方したりする場合もある。さ

このため、女子アスリートが無月経状態になると、疲労骨折しやすくなる。その危険性に保護者や指導者ら周囲の大人がもっと敏感になり、しっかりと食事を取って体重を維持させることが重要だ。

このため、女子アスリートが無月経状態になると、疲労骨折しやすくなる。その危険性に保護者や指導者ら周囲の大人がもっと敏感になり、しっかりと食事を取って体重を維持させることが重要だ。